

9条改憲は許さない!!

三國ヶ丘駅前での署名行動



私たち同仁会グループでは、昨
年秋以降、健康友の会みみはらの

3000万人署名 アクション行動

みなさんといっしょに、「安倍9
条改憲NO! 全国市民アクション」
の呼びかけに賛同し、「憲法
9条改憲止める大運動闘争本部」
を設置して、「3000万人署名」
に取り組んでいます。「健康」
の最大の前提条件は「平和」
です。平和を脅かす改憲は許せま
せん。健康に生き、暮らせるまち
づくりを進める私たちは、職場・
支部で9条改憲の危険な中身を学
習するとともに、毎月9がつく日
に病院や診療所の外来待合で宣伝
・署名行動に取り組みなど、多く
の同仁会グループの職員や友の会
の世話人さんが「署名チャレンジ
ヤー」となり、署名を推進してい
ます。4月19日現在、署名数は7
759筆。



耳原総合病院での署名行動

5・3大阪総がかり 集会に向けて

5月3日午後1時30分
扇町公園

5月3日憲法記念日に、午後1
時30分から「安倍9条改憲許さな
い! 5・3大阪総がかり集会」が
扇町公園で開催されます。改憲を
許さない運動は、3月末、自民党
が9条改憲の条文案について基本
方向を打ち出した重大局面を迎え

ハラスメント学習会



講師の安田翔子さん

コミュニケーション
の在り方や、働きやす
い職場環境づくり、そ
して一般的なハラスメ
ントのとりえ方・考え
方を学ぶために、管理
者や職責者、各事業所
安全衛生委員を対象に
「職場におけるハラス
メント講座」を開催し
ました。
講師には、多くのカ
ウンセラー実績を持つ安田翔子さ
んをお招きし、「ハラスメントの
定義」や「ハラスメント」が起こ
ることによる個人や職場への影響
そして「自分の中にある無意識の
行動」に気づく大切さを、グルー
プワークで話し合いました。



グループワークのようす

またグループワークでは、いろ
いろな事例での問題提起、ハラス
メント被害の訴えを受けた時の対
処法として、「教育」と「指導」
の境界線(難しさ)もあるが、日
頃から職場の人間関係を、職責者
を先頭に作り上げていくことが大
切であるとまとめられました。
参加した職責者からは「受け手
の取り方で変わってくるので、コ
ミュニケーションの大切さをあら
ためて感じた」「事例をグループ
討論で話し合い、いろいろな本音
の話し合いができた」等、パワハ
ラを含めたさまざまなハラスメン
トについて学べた研修会でした。

知らず知らずのうちに
加害者になっていませんか?

NO! パワハラ

ていますが、この集会は私たちの
運動の大きな節となります。みな
さんの積極的な参加をよろしくお
願いします。
この集会までに行きただけ多く
の署名を集め、9条改憲の発議を

許さない大きな世論を作り上げま
しょう。
*なお、署名は当面通常国会の
会期末(6月20日)をめどに、5
月末を第3次集約日として継続し
ます。

シリーズ 現場からの 視点

その35

「大腸がん検診キャンペーン
(2018年1月15日〜3
月31日)」について、
耳原総合病院の取り組み
を紹介いたします。

当院では「すべての
職員で地域の人の健康
・命を守る」を合言葉
に、病院幹部を先頭に
病院全体で運動に取り
組み、堺市市民検診で
669件(前年比約2
倍)、便潜血検査全体
では1836件の到達
となりました。(1月
1日〜3月31日)

具体的なアクション
は以下の通りです。

- ①配布
期間中に約1500
件の検査キットを配布
しました。外来予約患
者さんの中で今年度未
受診者の方をリストア
ップ、対象を絞って容器の配
布と検診のおすすしめをし
ました。

捨てるうんちで救いのち 大腸がんキャンペーン

耳原総合病院の取り組み

た。3月3日には未配
布の予約患者さん88
0件に検査キットと案
内を郵送しました。

②回収

キャンペーン中は特
設ブースを設けるな
ど、いつでもどこでも
検査の提出ができるよ
うにしました。Q & A
集を作成し、職員全体
で回収に取り組みまし
た。

③追跡・共有

期間中は、配布と回
収状況を毎日健診科が
追跡し、毎回の職責者
ミーティングや院内ニ
ュースでフィードバックを行
いました。

今回のキャンペーンを一時的
な取り組みとして終わらせ
るのではなく、日々の活動の
一部として継続的に検診を勧
めることが、何より重要であ
ると感じています。



(耳原総合病院組織健診科
係長 宅田由平)